

日本共産党 志位委員長が会見 『新・綱領教室』 の出版発表



日本共産党の志位和夫委員長は13日、国会内で、『新・綱領教室』出版の発表記者会見を行い、「この本が、日本共産党の値打ちを広い国民のみなさんに知っていただくうえで、ささやかでも力になればと願っています」と語りました。

参院選では 綱領が一つの争点に

志位氏は、「今度の参院選では、日本共産党の綱領そのものが一つの争点になります」と指摘。昨年の総選挙以降、党綱領に対して一方で批判や攻撃が加えられているが、他方で新しい関心が寄せられているとして、「そうした状況は、綱領を広げる大チャンスでもあります。参院選で共産党がよい結果を収める上でも、広い国民のなかで綱領を大いに語り躍進を果たしたい」と表明しました。

さらに「日米安保条約」「憲法と自衛隊」「天皇の制度」「社会主義・共産主義」などはとても熱い問題になっています。力を入れて書いた部分です」と強調しました。

自衛隊についての 見解・方針もくわしく

自衛隊解消を目指す方針に変わりはないのかとの質問に志位氏は、「憲法9条の完全実施——自衛隊の解消を目指す方針に変わりはありません」

と回答。そのうえで、「これは一足飛びにはできません。私たちが参画する民主的政権が、9条を生かした外交によって、日本をとりまく国際環境を平和にしていく。そして、圧倒的多数の国民の『なくしても安心』という合意が成熟したところで初めて、9条の完全実施に踏み出そうというのが私たちのプログラムです」と解説しました。

同時に、「一定の期間、民主的政権と自衛隊が共存していくわけです。その期間に、万が一、急迫不正の主権侵害があった場合には、自衛隊を含めてあらゆる手段を用いて国民の命と日本の主権を守るというのが党の立場です」と強調。「その際、重ねて強調しておきたいのは、あくまでも9条を生かした平和外交によって平和的な国際環境をつくっていくこと——これが私たちの考えのメインだということです。『軍事に対して軍事で対抗する』という立場は厳しく退けます。平和外交を進める努力を続ける中で、万が一、急迫不正の主権侵害が起きた時にはそうした対応をすることです」と語りました。



写真=しんぶん赤旗提供

記者会見の様子は
YouTube 日本共産党
「『新・綱領教室』出版発表 2022.4.13」



ぜひ日本共産党の立場を知ってください

この本を読んでいただければ、日本共産党の立場を知っていただけて、野党共闘を真剣に願っている方々にも役立てていただけたと思います。希望をもてる新しい政治をつくるため、力を合わせましょう。



参議院議員(東京選挙区選出)

山添 拓
やまぞえ たく

正義ある
政治を